

2023年は脱コロナを原動力とする景気回復が進み、社会・経済活動の活発化を実感した年でした。日本補聴器工業会が発表する2023年補聴器出荷台数は652,141台とコロナ前の水準まで回復いたしました。行政等による難聴対策の取り組みも活発化し、難聴や補聴器についての正しい理解が社会全体へ広がってきたことも回復要因の一つであると考えられます。

2023年度も当協会は難聴者のQOL向上のため、認定補聴器技能者の社会啓発のため、質の高い補聴器技能者の育成とその広報、公的資格化への取り組みを重要課題として活動してまいりましたのでご報告いたします。

補聴器技能者の育成事業についてはHHP研修会の内容の充実化やWeb開催による利便性を図りました。日本補聴器販売店協会支部との共催も増え、8講座を開催し601名と多くの補聴器技能者に受講いただきました。HHP研修会の充実化によって認定補聴器技能者の継続的なスキルアップへの関心も高まり、新規入会者数は135名と大幅に増加しました。

日本補聴器販売店協会の調査（2023年12月1日現在）によると、237市区町村において補聴器購入費の一部を助成する事業が実施されており、全国的に拡がりつつあります。また注目すべきは認定補聴器技能者を活用した助成制度も増加傾向にあり、その役割に期待が寄せられています。このような動向を鑑みて、全国の補聴器相談医が在籍する医療機関や各市区町村の障害福祉主管課などの約7,000先へ当協会の周知活動として会員名簿を送付いたしました。自治体からの問い合わせが増えるなどの反響もあり引き続き実施してまいります。

難聴対策において認定補聴器技能者への役割に期待が高まる中、当協会の活動の更なる発展を目的としたアンケート調査を実施しました。アンケート結果は、フィッティング技術や接客のスキルアップなど、教育機会の充実に期待した内容が多く継続的な資質向上の必要性についての意見が寄せられました。中でも公的資格化についての意見は多く、認定補聴器技能者の地位確立や適正供給への高い意識を改めて確認することができました。

公的資格化への取り組みについては、政治、行政、医学会、関連団体と安全で効果的な使用し資する補聴器の供給制度の在り方などについて意見交換を図ってまいりました。その結果、難聴対策の重要性や、認定補聴器技能者の役割についての理解が深まり、行政による難聴対策の取り組みが推進されるようになりました。また、テクノエイド協会の「認定補聴器技能者養成事業」・「認定補聴器専門店制度」や日本補聴器販売店協会の厚生労働省補助事業「補聴器販売者の技能向上研修等事業」へ継続して講師や指導員等を派遣し、質の高い認定補聴器技能者の育成と拡充に努めるとともに、当協会の広報活動も併せて行い会員増強活動にも取り組んでまいりました。

その他各委員会WGの活動の詳細は次の通りです。

〔会員構成〕

会員の別	期首	期末	増減
一般会員	9名	8名	△1名
資格認定会員	628名	652名	24名
準会員	239名	294名	55名
賛助会員(法人)	9社	10社	1社
賛助会員(個人)	9名	9名	0名
特別会員	0名	0名	0名
会員合計	894名	973名	79名

〔事業報告〕

○特定非営利活動に係る事業について

2023年度の重点活動目標として次の4項目を掲げて活動しました。

1. 補聴器技能者の育成事業（定款第5条第1項1号①）

- ① HHP（Hearing Healthcare Professional）研修会を開催しました。（8開催、参加者合計601名）
- ② 会誌「The MiMi Tribune」を発行し、情報提供を行いました。
- ③ 「補聴器技能者のためのポケットガイド」の周知をしました。
- ④ テクノエイド協会の認定補聴器技能者養成事業等に委員・講師を派遣し、運営等に協力しました。

2. 補聴器技能者の普及啓発事業（定款第5条第1項1号②）

- ① HPに掲載している認定補聴器技能者インタビューを追加更新しました。（3回）
- ② メールマガジンやFacebookで最新情報を提供しました。
- ③ 各地の各種団体が主催する講習会へ講師を派遣する他、ユーザー団体、高齢者団体等へも積極的な交流に務めました。（講師派遣3回）

3. 本法人の関連学会・団体との情報交換及び研究等共同事業（定款第5条第1項1号③）

- ① 各関連団体と積極的な情報交換を行い、協会活動を推進しました。

4. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条第1項1号④）

- ① 会員名簿に協会の活動紹介を追加し、関係諸団体へ配布しました。
- ② 各種講習会等で入会募集活動を行い、135名が新たに入会しました。
- ③ 厚生労働省医政局補助事業「令和5年度補聴器販売者の技能向上研修等事業」に委員・講師を派遣し、運営等に協力しました。

○その他の事業（定款第5条第2項）

実施しておりません。

第1号議案 事業報告

〔主な活動内容〕

以下に2023年度の主な活動報告を記します。

- 4月 ○第54回理事会 ○HHP研修会
- 5月 ○会計監査会
- 6月 ○第18回通常総会 ○第55回理事会
- 7月 ○総務委員会
- 8月 ○広報委員会 ○HHP研修会 ○総務委員会
○厚生労働省補助事業 第1回事業企画推進委員会に出席
- 9月 ○T.M.T.33号発行 ○教育・研修委員会 ○三委員会合同委員会
- 10月 ○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修）○HHP研修会 ○総務委員会
- 11月 ○第56回理事会 ○HHP研修会 ○難聴対策推進議員連盟第18回総会に出席
○厚生労働省補助事業 第2回事業企画推進委員会に出席
- 12月 ○広報委員会 ○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修）○武見厚労大臣表敬訪問
○合同三役会に出席
- 1月 ○HHP研修会 ○第1回補聴器勉強会に参加 ○自見内閣府特命担当大臣表敬訪問
- 2月 ○合同三役会に出席 ○販売店における補聴効果の確認法改定WG
○講師派遣（補聴器販売者技能向上研修）
- 3月 ○HHP研修会 ○補聴器満足度向上検討WGに出席
○厚生労働省補助事業 第3回事業企画推進委員会に出席

※T.M.T.とは会誌「The MiMi Tribune」のことです。

HHP研修会 実施一覧

開催日	カテゴリー	タイトル・開催地
4/7	1	認定補聴器技能者資格更新申請に関わる「フィッティングケース記録」について (東京・Webのハイブリッド形式)
4/7	5	リピート販売で競争激化に抗う～装用ケアのポイント (東京・Webのハイブリッド形式)
4/8	1	JapanTrak2022と米国市場 ―きこえの格差― (大阪・Webのハイブリッド形式)
8/23	1	認定補聴器技能者による適正なフィッティングケース記録の方法 (Web)
10/5	1	耳鼻咽喉科医師と補聴器技能者との連携～補聴器外来患者アンケート結果をふまえて～ (東京・Webのハイブリッド形式)
11/25	4	補聴器販売店セミナー～補聴器適正販売に関して～ (大阪・Webのハイブリッド形式)
1/10	4	販売店における補聴効果の確認法 (Web)
3/7	3	「フィッティング事例検討会」(Web)

HHP全カテゴリー修了者 59名 (2024年3月31日現在)

以上、2023年度の事業報告に当たり、会員各位のご協力に感謝申し上げます。

決算報告

第2号議案

2023年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
流動資産		
現金預金		
現 金	135,632	
普 通 預 金	8,361,728	
郵 便 貯 金	5,922,630	
流動資産合計		14,419,990
資産合計		14,419,990
II 負債の部		
流動負債		
未 払 金	500,000	
前 受 金	128,000	
流動負債合計		628,000
負債合計		628,000
III 正味財産の部		
正味財産		13,791,990
(うち当期正味財産増加額)		(△12,722)
負債及び正味財産合計		14,419,990

第2号議案 決算報告

2023年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 - 決 算
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	300,000	340,000	△40,000
会費収入	9,222,000	9,476,500	△254,500
	9,522,000	9,816,500	△294,500
2 事業収入			
育成事業	1,500,000	1,509,000	△9,000
普及啓発事業	20,000	0	20,000
	1,520,000	1,509,000	11,000
3 補助金等収入			
助成金収入	300,000	300,000	0
	300,000	300,000	0
4 雑収入			
受取利息	100	57	43
	100	57	43
収入合計	11,342,100	11,625,557	△283,457
II 支出の部			
1 事業費			
育成事業	1,650,000	1,661,696	△11,696
普及啓発事業	1,700,000	1,828,110	△128,110
研究事業	2,200,000	0	2,200,000
	5,550,000	3,489,806	2,060,194
2 管理費			
会議費計	3,700,000	2,917,323	782,677
理事会費	1,200,000	1,321,377	△121,377
その他会議費	1,350,000	1,015,746	334,254
教育・研修委員会	600,000	227,080	372,920
広報委員会	250,000	63,420	186,580
総務委員会	300,000	181,260	118,740
ワーキンググループ等	0	108,440	△108,440
総会費	1,600,000	1,274,776	325,224
旅費交通費	750,000	582,440	167,560
通信費	250,000	373,906	△123,906
消耗品費	350,000	577,783	△227,783
図書費	10,000	0	10,000
支払手数料	50,000	42,256	7,744
賃貸料(家賃)	600,000	600,000	0
租税公課	5,000	1,200	3,800
顧問料(税理士他)	250,000	5,500	244,500
事務委託費	900,000	900,000	0
雑費	30,000	27,390	2,610
渉外費	200,000	279,899	△79,899
寄附金	0	500,000	△500,000
諸会費	50,000	66,000	△16,000
	8,745,000	8,148,473	596,527
支出合計	14,295,000	11,638,279	2,656,721
当期収支差額	△ 2,952,900		△ 12,722
前期繰越収支差額	13,804,712		13,804,712
次期繰越収支差額	10,851,812		13,791,990

※2023年度はその他の事業を実施していません。

第2号議案 決算報告

2023年度 特定非営利活動に係る事業会計正味財産増減計算書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額	
(増加の部)		
資産増加額		
当期収支差額	0	0
負債減少額	0	0
増加額合計		0
(減少の部)		
資産減少額		
当期収支差額	12,722	12,722
負債増加額	12,722	12,722
減少額合計		12,722
当期正味財産増減額		12,722
繰越正味財産額		13,804,712
期末正味財産合計額		13,791,990

2023年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
流動資産		
現金	135,632	
普通預金	8,361,728	
郵便貯金	5,922,630	
技能者協会	71,812	
JHITA研修会	5,850,818	
流動資産合計		14,419,990
資産合計		14,419,990
II 負債の部		
流動負債		
未払金	500,000	
前受金	128,000	
流動負債合計		628,000
負債合計		628,000
正味財産		13,791,990

注記 普通預金 みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 2126161
 郵便貯金
 技能者協会 振替貯金 00130-5-631089
 JHITA研修会 振替貯金 00180-1-299580
 未払金 ACジャパンキャンペーン協賛金 500,000円
 前受金 次年度分受講料
 (4/10研修会 42名分 128,000円)

以上のとおり報告いたします。

2024年6月15日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
理事長 阿部 秀実

監査報告書

特定非営利活動促進法18条の規定に基づき2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の業務監査及び会計監査を実施した。

業務監査(理事の業務執行の状況に関する監査)に当たっては、理事会他の会議に出席し、必要と認める場合には質問をおこない、意見を表明した。

会計監査(財産の状況に関する監査)に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。

ここに、上記期間に係る事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が2024年3月31日における財産の状況を適正に表示しているものである。

2024年 5月 16日

監 事 瀬部保天 

監 事 宮永好章 